

平成8年度演習林年報

<https://doi.org/10.15017/18590>

出版情報：年報（九州大学農学部演習林年報）。1996, 1998-03-26. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：

V. 研究教育業務関係

A. 研究項目一覧

研 究 項 目	研 究 者 名
森林生物研究部門	
植物の分類と群落の生態に関する研究	井 上 晋
群落の保全技術に関する研究	”
森林の生態的構造と成立環境に関する研究	岡 野 哲 郎
広葉樹林の更新機構に関する研究	”
樹木成長の可塑性に関する研究	田 代 直 明
森林環境研究部門	
森林流域における降雨—流出過程の研究	小 川 滋
リモートセンシング技術とGISによる流域保全管理システムの開発	”
森林レクリエーションに関する計画設計論的研究	薛 孝 夫
都市緑地の保全と利用に関する研究	”
森林水文および水文地形に関する研究	井 倉 洋 二
山地における土砂移動	笠 井 美 青
森林生産研究部門	
森林資源政策の再編に関する研究	堺 正 紘
木材流通に関する研究	”
森林社会学	飯 田 繁
森林利用研究部門	
森林総合利用に関する研究	村 瀬 房之助
森林保全に関する研究	”
食用ならびに薬用キノコの生理特性や生産技術	大 賀 祥 治
森林の木材腐朽菌および菌根菌	”
木材材質に関する研究	古 賀 信 也

(平成9年11月現在)

B. 担当授業科目一覧

平成8年度

授 業 科 目		担 当	補 助	
学 部				
森林環境学	(後期)	小川 滋		
林学通論	(後期)	堺 正紘 飯田 繁		
樹木学	(後期)	井上 晋		
生態系の構造と機能	(後期)	井上 晋		
造園学第一	(前期)	薛 孝夫		
木材流通論	(前期)	堺 正紘		
林学特別実習	(前期)	大賀 祥治	田代 直明	
林産学科林学実習	(前期)	井上 晋	村瀬房之助 荒上 和利	寺岡 行雄 井倉 洋二
大学院				
森林生産組織学特論	(前期)		大賀 祥治	
森林環境学特論	(前期)	小川 滋	井上 晋	
森林環境学特論演習	(通年)	小川 滋	井上 晋 荒上 和利 薛 孝夫	村瀬房之助 岡野 哲郎 井倉 洋二
緑地環境設計特論	(後期)	薛 孝夫		
森林生産管理学特論	(前期)	堺 正紘		
森林生産学特論演習	(通年)	堺 正紘	飯田 繁 大賀 祥治	古賀 信也 寺岡 行雄

C. 指 導 論 文

平成8年度

学 生 氏 名 (所属講座)	論 文 題 目	利 用 演習林名	担 当
白井 陽介 (林学第4)	修士 第三セクター方式による林業事業体の 労働力確保に関する研究		堺 正紘
峯 苜 栄子 (林学第3)	学士 アカメガシワの根萌芽に関する生態生 理学的研究	早良実習場	井上 晋
芳賀 弘和 (環境システム学)	学士 山地河川の溪畔域におけるモミ、ツガ 実生の定着に及ぼす洪水の影響	宮崎演習林	岡野 哲郎

D. 文部省科学研究費補助金および研究助成金の交付概況

平成8年度

研究種目	研究課題	代表分担別	研究機関・職・氏名
基盤研究(A)(1)	産地試験設定を伴うミズナラのフェノロジーの地理的変異に関する研究	代表 分担 分担	九大農教授 今田 盛生 九大農助教授 井上 晋 九大農助手 岡野 哲郎
基盤研究(A)(1)	地震に対する林地の安定性と山地災害に関する総合的研究	代表 分担	三重生物資源学部教授 林 拙郎 九大農教授 小川 滋
基盤研究(A)(1)	森林地域における酸性降下物流出の広域比較	代表 分担	京大農教授 川那辺三郎 九大農助手 井倉 洋二
基盤研究(B)(2)	異常渇水の長期化による森林流域環境の影響評価と今後の流域管理に関する研究	代表	九大農教授 小川 滋
基盤研究(C)(2)	保全系都市緑地の機能評価とそれに基づく緑地配置論の構築のための基礎的研究	代表	九大農助教授 薛 孝夫
総合研究(A)	火山体における雨水流出・地形発達 の相互作用に関する比較水文学的研究	代表 分担	京大農教授 小橋 澄治 九大農助手 井倉 洋二
総合研究(C)	台風災害等による林家の経営マインドの後退と森林資源政策の再編に関する研究	代表 分担 分担	九大農教授 堺 正紘 九大農助教授 飯田 繁 九大農助手 寺岡 行雄
(研究調査助成金) (財)日本証券 奨学財団	林業職女子公務員の職場環境と技術革新時代における農山村の女性	代表	九大農助教授 飯田 繁
(奨学寄付金) サッポロ産機 株式会社	きのこ栽培に関する研究	代表	九大農助教授 大賀 祥治

E. 演習林利用状況

1. 固定試験地の新規設定

平成8年度に新設および設定申請された固定試験地は、北海道演習林1件、福岡演習林1件、宮崎演習林6件の計8試験地であった。各試験地の名称、面積、林小班、設定期間、設定者、担当者および目的・概要は以下の通りである。

(1) 北海道演習林

木酢液による樹木の食害防除

試験地番号：H1996-01

面積・林小班名：0.45ha（12林班7い小班，13林班9い小班，15林班5い小班）。

設定年月：1996年11月 設定期限：2001年12月。

設定者：大賀祥治（九大演習林・森林利用部門）。

担当者：大賀祥治（九大演習林・森林利用部門）。

目的・概要：北海道演習林における針葉樹人工林カラマツ，トドマツに対するエゾヤチネズミ・エゾシカの食害が目立つ地域林班で，木酢液の塗布による忌避効果について試験する。方法は，樹種，林齢の異なる各プロット内で木酢液（原液，1/10，1/100）を1本あたり地上高50～100cmに対して50ml塗布する。塗布時期は秋とし一冬経過後の春に塗布効果をを調査する。木酢液・塗布試験では，傷の癒合作用に与える効果や，菌根性担子菌，周辺植物に与える影響についても知見を得ることを目指している。

(2) 福岡演習林

広葉樹繊維長に關与する因子

試験地番号：F1996-001

面積・林小班名：0.01ha（9林班）。

設定者：小田一幸（林産学科木材理学講座）。

担当者：小田一幸（林産学科木材理学講座）。

設定年月：1996年5月 設定期限：1997年3月。

目的・概要：広葉樹材の繊維の長さが決まるしくみを明らかにする研究の一環として，ニセアカシアを対象に，樹幹に植物ホルモンを塗布し，木部繊維長におよぼす影響を検討する。

(3) 宮崎演習林

九州中部山岳地帯におけるアカマツ二次林の動態に関する研究

試験地番号：M1996-001

面積・林小班名：0.32ha（25林班に小班）。

設定者：林学科第一講座。

担当者：林学科第一講座。

設定年月：1996年10月 設定期限：永久。

目的・概要：アカマツ二次林の種組成，およびサイズ構造の経年変化について明らかにする。設定時に胸高直径1cm以上の全個体について，樹種，胸高直径，樹高，樹冠基底高についての毎木調査，樹木位置図の作成を行う。今後，5年間隔で同様の毎木調査を行う。加えて，樹木伐採により形成された林冠ギャップ下における樹木の更新動態について，設定後5～10年間，1年間隔で樹種，個体数，樹高について調査を行う。

ケヤキ・ヒノキ交互植栽試験

試験地番号：M1996-002

面積・林小班名：0.80ha（29林班い小班）.

設定者：九大宮崎演習林.

担当者：九大宮崎演習林.

設定年月：1997年3月 設定期限：2046年3月.

目的・概要：ケヤキの通直な高品質材生産を目的とした育林試験である。ヒノキをガイドとして、ケヤキの通直な成長を期待している。今後、通直性、成長過程を測定・観察する。1列ケヤキ1列ヒノキ、2列ケヤキ2列ヒノキの2種類を設定している。植栽間隔は1.8mの方形植えとなっている。

ケヤキ系統的密度配置試験

試験地番号：M1996-003

面積・林小班名：0.119ha（29林班い小班）.

設定者：寺岡行雄（鹿児島大学）.

担当者：寺岡行雄（鹿児島大学）.

設定年月：1997年3月 設定期限：2046年3月

目的・概要：九州山岳地におけるケヤキ人工林造成のための基礎資料収集を目的として、系統的密度試験地を設定した。密度と成長との関係から最適植栽密度を明らかにする。植栽密度が1000本/haから28000本/haまで段階的に変化するように系統的に密度配置を行った。植栽列（扇形のスポーク部）は18列で、計360本を植栽した。

ヒノキ（上光2号）系統的密度配置試験

試験地番号：M1996-004

面積・林小班名：0.187ha（29林班い小班）.

設定者：寺岡行雄（鹿児島大学）.

担当者：寺岡行雄（鹿児島大学）.

設定年月：1997年3月 設定期限：2046年3月.

目的・概要：九州山岳地における上光2号の最適植栽密度を明らかにするために、系統的密度試験を開始した。今後、成長経過を測定する。植栽密度が1000本/haから28000本/haまで段階的に変化するように系統的に密度配置を行った。植栽列（扇形のスポーク部）は25列で、計500本を植栽した。

シカ食害防除試験（チューブ内植栽）

試験地番号：M1996-005

面積・林小班名：0.03ha（29林班い小班）.

設定者：宮崎演習林.

担当者：宮崎演習林.

設定年月：1997年3月 設定期限：2006年3月.

目的・概要：チューブ内は食害が起こる可能性はない。高冷山岳地で使用した場合の成長過程を測定し、今後本演習林において適用可能かどうか検討する。1.4mのヘキサチューブ100本を使用し、チューブ内にヒノキ（上光2号）苗を植栽した。当面、樹高成長ならびに生育状況を測定観察する。

ヒノキ植栽密度試験

試験地番号：M1996-006

面積・林小班名：1.80ha（29林班ほ小班）.

設定者：寺岡行雄（鹿児島大学）.

担当者：寺岡行雄（鹿児島大学）.

設定年月：1997年3月 設定期限：2046年3月.

目的・概要：高冷急峻山岳地において優良品種といわれる上光2号がどのような成長をするのか実証することを目的としている。植栽密度を変えることにより、上光2号の適切な育林プロセスも検討する。1995年度伐採跡地（前生樹はヒノキ）1.8ha内を3分割し、1000本/ha, 2000本/ha, 3000本/haの密度試験地を設定した。

大藪川土砂動態試験地

試験地番号：M1996-007

面積・林小班名：522ha（22～29林班）.

設定者：宮崎演習林.

担当者：宮崎演習林.

設定年月：1996年3月 設定期限：永久.

目的・概要：当地域は、年降水量が4000mmに達する多雨地域であり、急峻な地形や破碎帯地質とあいまって、河川の土砂流出量がきわめて大きい。本試験地は、大藪川流域522haを対象とし、河川の土砂流出量と、それに及ぼす流域内の森林施業の影響を明らかにすることを目的とし、貯砂ダムと量水ダムにより土砂流出量と河川の流量を長期的に計測するものである。

2. 研究教育用資材の提供

平成8年度

目的	場所	資材名	提供先(代表者名)
広葉樹引張あて材の組織構造に関する研究	福岡演習林	トベラ, アカメガシワ クロキ, クス, ハゼ, シロダモ材	木材理学 小田一幸
スギ樹幹内における力学的性質のバラツキ	福岡演習林	スギ材	木材理学 小田一幸
林産学科林学実習(樹幹解析)	宮崎演習林	スギ材	演習林 井上晋
ラミナの含水率構成を変えることによる乾燥集成材の曲げ強度性能の改善	福岡演習林	スギ材	木材工学 藤本登留
九州大学公開講座「森林を科学する」実習(人工林の育成)の教材用として	福岡演習林	スギ材	演習林 岡野哲郎
天然生アカマツ林の成長特性(林学科学生実習樹幹解析)	宮崎演習林	アカマツ, ツガ材	林学第一 今田盛生

3. 演習林利用による研究成果

(順不同)

利用演習林名	執筆者名	論文名	誌名	巻・号	頁	所属講座名	備考
北海道演習林	Imada,M.	Management system for Japanese Oak on the Kyushu University Forest in Hokkaido.	Journal of Forest Planning	2・1	43～50	林学第一	
	渡邊 奈月	ミズナラ高品質材生産を目的とし最適植栽密度 一系統的配置による18年目の結果に基づいて一	林業技術	652	35	林学第一	
	國崎 貴嗣 今田 盛生	植栽密度がミズナラ・人工林の直径一樹高関係に及ぼす影響	日本林学会大会	107回	口頭発表	林学第一	
	時村 聡代 割石 博之 大賀 祥治 田中 浩雄	白色腐朽菌ベッコウダケの染料脱色及びリグニン分解機構	日本木材学会	46回	口頭発表	木材化学工学	
	大賀 祥治	シイタケ菌床の熟成度と水分環境	日本木材学会	46回	口頭発表	演習林	
	大賀 祥治	シイタケ菌床の熟成度判定のための指示薬呈色反応	日本菌学会	40回	口頭発表	演習林	
	大賀 祥治	森に生えるキノコの話	市民大学講座報告書	1996	6	演習林	
	大賀 祥治	シイタケ菌床からの二酸化炭素およびエチレンの発生パターン	きのこ技術集談会(年会)	8回	口頭発表	演習林	
	大賀 祥治	ヨーロッパにおけるシイタケ菌床栽培	きのこ技術集談(シンポジウム)	17回	口頭発表	演習林	
	Okano,T.	Quantitative analysis of topographical factors and their influence on forest vegetation.	INTERPRAEVENT	1996(1)	205～214	演習林	
	Koga,S. Oda,K. Tsutsumi,J. Fujimoto,T.	Effect of thinning on basic density and tracheid length of karamatsu (<i>Larix leptolepis</i>).	Mokuzai Gakkai	42・6	605～611	演習林	
	Koga,S. Oda,k. Tsutsumi,J.	Effect of thinning on intrinsic wood properties of Japanese larch.	Recent Advances in Wood Anatomy	1996	305～307	演習林	
	古賀 信也	樹冠量を調整したカラマツの成長と木材性質	日林九支研論	49	207～208	演習林	
宮崎演習林	深津 恵子	九州大学宮崎演習林におけるアカマツを上層とする二次林の林分構造	卒業論文			林学第一	
	Kunisaki,T. Imada,M.	DBH-Height Relationship for Japanese Red Pine(<i>Pinus densiflora</i>) in Extensive Natural Forests in Southern Japan.	Journal of Forest Planning	2・2	115～123	林学第一	
	Kunisaki,T. Imada,M.	Tree Diameter of Stand and Each Species in Largescale Cool-Temperate Forest of Kyushu, Southern Japan.	J.Fac,Agr., Kyushu Univ,	41・1/2	45～56	林学第一	
	國崎 貴嗣 今田 盛生	九州中部山岳地帯における天然性アカマツ壮齡林の林分構造	森林計画学会誌	27	1～6	林学第一	
	國崎 貴嗣 今田 盛生	九大宮崎演習林における有用広葉樹6種の樹高曲線	日林九支研論	49	27～28	林学第一	
	村上 拓彦 寺岡 雄盛 今田 盛生	樹高データを用いた衛星リモートセンシングデータの輝度補正 一九州大学宮崎演習林における事例一	日林九支研論	49	29～30	林学第一	
	村上 拓彦 溝上 展也 寺岡 雄盛	流域におけるスギ・ヒノキ人工林の分布特性 一ランドサットTMデータによる解析事例一	日本林学会大会	107回	口頭発表	林学第一	

利用演習林名	執筆者名	論文名	誌名	巻・号	頁	所属講座名	備考
宮崎演習林	村上 拓彦 寺岡 展也 溝上 盛生 今田	森林地帯の分断(Fragmentation)に関する一考察	日林九支大会	52回	口頭発表	林学第一	
	藤井 秀亮 村上 展也 溝上 行雄 寺岡 盛生 今田	スギ・ヒノキ人工林におけるランドサットTMデータの輝度に与える地形の影響の把握 (I)	日林九支大会	52回	口頭発表	林学第一	
	國崎 貴嗣 今田 盛生	ホオノキ人工幼齢林内の林木の成長解析	日林九支大会	52回	口頭発表	林学第一	
	藤井 秀亮	スギ・ヒノキ人工林におけるランドサットTMデータの輝度に与える地形の影響の把握	卒業論文			林学第一	
	Marutani, T. Kasai, M.	River bed deformation at confluence points in a mountainous Stream.	International Symposium Interpraevent	96・1	283~292	環境システム学	
	高柳 威晴 丸谷 知己 笠井 美青 山口 和也	山地河川でのプール地形がヤマメ個体数に与える影響	日林九支研論	49	153~154	環境システム学	
	高柳 威晴	プール体積とレキ径及び掃流砂面積がヤマメ個体数及びサイズ変化に及ぼす影響	修士論文			環境システム学	
	芳賀 弘和	山地河川の溪畔域におけるモミ、ツガ実生の定着に及ぼす洪水の影響	卒業論文			環境システム学	
	牧田 正代	山地小流域からの流出土砂量とその粒度組成に及ぼす流域地形の影響	卒業論文			環境システム学	
	高田 克彦 寺岡 展也 白石 進	スギ人工林における強度材質のパラツキと林分構成品種との関係	日本木材学会	46回	口頭発表	木本植物学	
	井上 晋透 小泉	九大宮崎演習林の天然林における野生シカが及ぼす植生被害について	日林九支大会	52回	口頭発表	演習林	
	Teraoka, I.	An Effective Mensuration Technique for Multipurpose Management using Fish-Eye Photographic Images.	Remote Sensing and Computer for Natural Resource Assessment	1996	265~271	演習林	
寺岡 行雄	開空度測定のための全天写真撮影上の問題点について	日林九支研論	48	29~30	演習林		
笠井 美青 丸谷 知己	山地源流域における合流点での土砂の滞留現象	砂防学会誌	49・6	17~23	演習林		
福岡演習林	三枝 康弘 國崎 貴嗣 溝上 展也 寺岡 行雄 今田 盛生	森林情報システムの整備 - 樹冠動態を考慮したスギ・ヒノキ人工林の成長モデル -	日林論	107	99~100	林学第一	
	溝上 展也 寺本 佳代	樹冠構造を考慮したヒノキ同齢林の成長予測	日本林学会大会	107回	口頭発表	林学第一	
	三枝 康弘 國崎 貴嗣 溝上 展也 寺岡 行雄 今田 盛生	森林情報システムの整備 - 九州大学福岡演習林の事例 -	日本林学会大会	107回	口頭発表	林学第一	
	三枝 康弘 溝上 展也 今田 盛生	樹冠ベースモデルによるシステム収穫表 - システムの基本構成 -	日林九支大会	52回	口頭発表	林学第一	宮崎演習林も利用

利用演習林名	執筆者名	論文名	誌名	巻・号	頁	所属講座名	備考
福岡演習林	井上 昭夫 溝上 展也 今田 盛生	半引基準に基づく上層木の選定	日林九支大会	52回	口頭発表	林学第一	
	國崎 貴嗣 光田 靖 今田 盛生	針葉樹人工同齡林における定期樹高成長量の林木間変異	日林九支大会	52回	口頭発表	林学第一	
	Inoue,A. Okamura,A. Okamura,N. Teraoka,I. Imada,M.	Estimatin of Relative Illuminonsc in Forests using Hemispherical Photographs.	Journal of Forest Planning	2・2	125~129	林学第一	
	三枝 康弘	樹冠動態に基づくスギ・ヒノキ人工林のシステム収穫表の作成 -九州大学福岡演習林を対象として-	修士論文			林学第一	
	井上 昭夫	連進帯状二段林経営システムの基本設計	修士論文			林学第一	
	権藤 健太	スギ・ヒノキ同齡単純林における直径および樹高の定期成長量の林木間関係	卒業論文			林学第一	
	作田耕太郎 牧本 薫 玉泉幸一郎 齋藤 明	暖湿帯林における先駆性樹種の水分特性	日林九支大会	52回	口頭発表	林学第三	
	Tsuyama,M. Kobayashi,H. Shinya,M. Yahata,H. Kobayashi,Y.	Simultaneous Measurements of Quantum Yield and CO ₂ Uptake for the Assessment of Non-assimilative Electron Flow in Tree Leaves.	J.For.Res.	1・2	79~85	農林生物物理学	
	幾代 渡一 小田 壽一	広葉樹繊維長に關与する因子 -萌芽枝の年輪構造に關する考察-	日林九支研論	49	203~204	木材理学	
	松村 順司 藤江 明美 堤 壽一 小田 一幸	スギ材の気体透過性と液体透過性及び注入量との關係	日本木材学会	46回	518	木材理学	
	三谷 一 小田 一幸 堤 壽一	スギ丸太動的ヤング率と正割材の曲げヤング率との關係に及ぼす未成熟材率の影響	日本木材学会	46回	516	木材理学	
	幾代 渡一 小田 壽一	ニセアカシアおよびエゴノキの萌芽新生木部細胞の伸長成長	日本木材学会	46回	503	木材理学	
	徳丸 善浩 藤本 登留 又木 義博	乾燥薄板接着による未乾燥心持ち角材の集成化 -集成材性能におよぼす薄板乾燥処理条件の影響-	日本木材学会	46回		木材工学	
	後藤 健輔 藤本 登留 又木 義博	スギ心持ち角材の乾燥 -マイクロ波・熱風複合乾燥法について-	日本木材学会	46回	口頭発表	木材工学	
後藤 健輔 藤本 登留 河辺 純一 又木 義博	心持ち角材の乾燥 -スギ実大長尺柱材に対するマイクロ波加熱法の適用試験-	日本木材学会九州支部会	3回	口頭発表	木材工学		
藤本 登留 立和名 一 又木 義博	スギ心持ち角材の乾燥 -横断面内の水分非平衡状態におけるクリープ特性-	日本木材学会	46回	口頭発表	木材工学		
堺 正紘 井上 晋	九州大学農学部附属演習林 福岡演習林第7次森林管理計画書(1997-2006年度)		第7次	1~101	演習林	早良実習場も利用	
早良実習場	峯 苦栄子 玉泉幸一郎 齋藤 明	海岸クロマツ林内に生育するアカメガシワの根萌芽の分布	日林九支大会	52回	口頭発表	林学第三	

4. 学生実習

平成8年度

実習名	期間	日数	講座名	担当教官	場所	学 生
森林生態生理学実習	5.27～5.31	5日	林学第3	齋藤 明 外1名	宮崎演習林	林学科3年生 14名 4年生 1名 院 生 1名
実地見学	7.8～7.17	10日	林学第4	岡森 昭則	京都～北海道	林学科3年生 14名
林産学科林学実習	7.15～7.19	5日	演習林	井上 晋 外4名	宮崎演習林	林産学科3年生 28名
林学特別実習	7.18～7.23	5日	演習林	大賀 祥治 外1名	北海道演習林	林学科3年生 13名
森林測量学実習	9.2～9.6	5日	林学第2	中尾 博美 外1名	福岡演習林	林学科3年生 13名
森林工学実習	10.1～10.4	4日	林学第2	中尾 博美 外1名	福岡演習林	林学科3年生 14名
測樹学実習	10.7～10.11	5日	林学第1	今田 盛生 外1名	宮崎演習林	林学科2年生 12名 4年生 6名 院 生 5名
造林学実習	2.24～2.28	5日	林学第3	齋藤 明 外3名	福岡演習林	林学科2年生 18名 3年生 1名 4年生 2名 院 生 5名
森林工学実習 (砂防工学)	3.3～3.7	5日	林学第2	大村 寛 外1名	福岡演習林	林学科3年生 14名
森林経営学実習	3.10～3.14	5日	林学第1	今田 盛生 外2名	宮崎演習林	林学科2年生 18名 3年生 3名 4年生 2名 院 生 5名

5. 利用者数

平成8年度

	九州大学			他大学 および 研究機関	林業関係	一 般	計
	林学科 林産学科	演習林	他学科				
福岡演習林	565	149	470	393	32	4301	5910
早良実習場	106	263	4	73	578	1337	2361
宮崎演習林	691	403	115	83	0	279	1571
北海道演習林	107	17	19	171	128	295	737
計	1469	832	608	720	738	6212	10579

※延人数で記載

F. 演習林気象年報

平成8年

北海道演習林

月	気 温				日気温 の 月平均 (9時)	地 温					降 水 量		蒸発量	天 気 (9時)				
	日最高 月平均	日最高 極 値	日最低 月平均	日最低 極 値		0.1m	0.2m	0.3m	0.5m	1.0m	月合計	日最大		快晴	晴	曇	雨	雪
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	mm	mm	mm					
1	-1.3	3.1	-16.2	-24.0	-12.1	-0.1		1.0			12.5	5.5		4	16	7	0	4
2	-0.1	7.5	-14.6	-23.2	-9.8	-0.6		0.1			3.5	2.5		7	15	6	0	1
3	5.2	14.4	-6.6	-15.5	-0.8	-0.3		0.1			29.5	10.0		8	13	8	0	2
4	10.8	22.3	-2.0	-8.6	5.3	1.2		0.9			13.0	3.0		3	12	11	0	4
5	14.5	30.8	3.4	-1.8	9.5	9.0		8.0			135.0	37.0		8	4	14	4	1
6	19.2	25.6	9.1	0.2	15.0	14.7		13.7			66.0	21.0		4	7	14	5	0
7	23.0	30.8	15.1	9.6	19.0	17.9		16.9			89.0	18.0		2	4	22	3	0
8	23.2	29.9	14.6	8.2	18.4	19.4		18.9			72.5	25.0		4	5	17	5	0
9	20.6	24.1	10.6	2.5	14.8	16.4		17.0			110.0	34.5		6	6	14	4	0
10	15.1	21.8	3.2	-3.3	8.4	11.5		12.2			36.0	24.0		11	9	9	2	0
11	6.8	13.4	-4.4	-13.8	1.3	3.9		5.8			33.0	12.0		14	4	9	2	1
12	1.3	7.6	-11.5	-21.0	-6.9	0.0		2.1			24.5	15.5		16	5	10	0	0
総計	138.3	—	0.7	—	62.1	93.0		96.7			625.5	—		87	100	141	25	13
年平均	11.5	—	0.1	—	5.2	7.8		8.1			—	—		—	—	—	—	—

平成8年

宮崎演習林

月	気 温				日気温 の 月平均 (9時)	地 温					降 水 量		天 気 (9時)					
	日最高 月平均	日最高 極 値	日最低 月平均	日最低 極 値		0.1m	0.2m	0.3m	0.5m	1.0m	月合計	日最大	快晴	晴	曇	雨	雪	
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	mm	mm						
1	8.9	17.3	-2.5	-6.8	0.8			6.2			125.5	55.5		—	—	—	—	—
2	2.5	19.1	-3.4	-10.7	0.7			6.3			96.5	19.5		11	6	2	1	0
3	6.8	20.6	1.3	-3.8	6.2			9.4			282.0	83.5		5	6	4	4	0
4	—	—	—	—	—			—			202.5	64.5		10	4	3	2	0
5	—	—	—	—	—			—			105.0	36.0		7	2	5	3	0
6	—	—	—	—	—			—			950.5	144.0		3	0	5	12	0
7	—	—	—	—	—			—			915.5	441.0		11	3	2	8	0
8	—	—	—	—	—			—			623.5	311.0		9	1	6	4	0
9	—	—	—	—	—			—			84.0	29.5		9	1	6	2	0
10	—	—	—	—	—			—			101.0	22.5		10	0	2	3	0
11	—	—	—	—	—			—			91.0	23.0		15	1	4	3	0
12	—	—	—	—	—			—			62.0	34.0		15	0	1	1	0
総計	—	—	—	—	—			—			3639.0	—		105	24	40	43	0
年平均	—	—	—	—	—			—			—	—		—	—	—	—	—

※3月28日より機器(データロガー)故障のため欠測

平成8年

福岡演習林

月	気 温				日気温 の 月平均	地 温					降 水 量		天 気 (9時)				
	日最高 月平均	日最高 極 値	日最低 月平均	日最低 極 値		0.1m	0.2m	0.3m	0.5m	1.0m	月合計	日最大	快晴	晴	曇	雨	雪
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	mm	mm					
1	9.8	17.2	0.2	-4.1	5.0	5.8		7.0			40.5	18.0	5	13	10	3	0
2	8.8	21.0	0.0	-4.9	4.5	6.0		6.7			42.5	7.5	3	10	14	1	1
3	—	—	—	—	—	—		—			—	—	4	8	16	3	0
4	16.4	25.8	5.2	-0.3	10.8	12.9		12.5			96.0	28.5	9	8	11	2	0
5	23.7	27.9	12.5	8.2	18.1	19.7		18.3			57.0	15.5	8	11	9	3	0
6	27.1	31.9	19.8	15.9	23.1	23.9		22.7			367.0	120.5	1	12	15	2	0
7	30.6	35.8	22.8	18.3	26.2	27.1		25.7			205.5	144.5	2	15	13	1	0
8	—	—	—	—	—	—		—			—	—	6	18	3	4	0
9	27.8	30.3	18.8	14.2	22.9	24.2		24.4			68.5	28.5	5	14	9	2	0
10	23.1	26.8	12.7	6.8	17.6	19.0		19.7			39.5	9.5	5	18	5	3	0
11	16.9	24.9	8.5	2.3	12.9	14.5		15.8			72.5	24.0	2	16	9	3	0
12	12.8	20.7	2.7	-1.2	7.5	8.0		9.5			62.5	14.5	3	18	8		2
総計	197.0	—	103.2	—	—	161.1		162.3			1,051.5	381.0	53	161	122	27	3
年平均	—	—	—	—	—	—		—			—	—	—	—	—	—	—

※3、8月機器故障のため欠測

平成8年

早良実習場

月	気 温				日気温 の 月平均 (9時)	地 温					降 水 量		蒸発量	天 気 (9時)				
	日最高 月平均	日最高 極 値	日最低 月平均	日最低 極 値		0.1m	0.2m	0.3m	0.5m	1.0m	月合計	日最大		快晴	晴	曇	雨	雪
	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	mm	mm	mm					
1	11.2	19.1	0.5	-2.6	4.8						41.5	18.5		0	15	13	3	0
2	10.8	22.8	0.6	-3.7	5.4						39.5	10.0		0	9	15	4	1
3	14.5	22.1	4.7	-2.9	9.9						110.5	53.0		0	9	19	3	0
4	18.0	29.0	5.5	1.3	13.2						95.5	37.0		1	17	7	5	0
5	24.0	28.3	13.0	8.9	19.5						33.0	11.0		2	18	6	5	0
6	27.9	33.8	20.2	15.0	24.0						209.5	102.0		0	9	11	10	0
7	31.4	36.9	23.6	20.2	27.5						39.0	38.0		5	10	15	1	0
8	33.4	39.5	24.6	21.9	28.8						197.0	111.5		6	13	8	4	0
9	28.5	31.0	19.2	14.9	23.8						15.5	11.0		2	13	11	4	0
10	25.7	30.1	13.5	8.1	19.0									1	21	6	3	0
11	18.5	28.2	9.6	3.9	14.3						0.5	0.5		0	12	18	0	0
12	14.5	19.6	3.1	-0.5	7.4						0.5	0.5		0	20	10	1	0
総計	258.4	—	138.1	—	197.6						782.0	—		17	166	139	43	1
年平均	21.5	—	11.5	—	16.4						—	—		—	—	—	—	—

G. 刊 行 物

- 九州大学農学部演習林報告 第75号 (平成8年12月26日発行)
- | 論 文 名 | 著 者 名 |
|---|----------------------------------|
| RAPDマーカーを用いた九州地方のスギさし木品種の分類 | 高 田 克 彦…1
白 石 進 |
| ニセアカシア (<i>Robinia pseudoacacia</i> L.) の耐塩性カルスの選抜 | 陳 玉 泉 幸一郎…15
齋 藤 明 |
| 日本と韓国における都市公園の開発政策と現状 | 朴 堧 九 遠…27
堀 正 紘 |
| ケニアにおける土地問題(I) 先住民族の土地所有権 | 飯 田 繁…49 |
| 台湾の林野制度が及ぼした原住民族への影響 | 陳 元 陽…57
堀 正 紘 |
| 針葉樹人工林における林分構造のばらつき(I)
H-N-D関係に及ぼす地位の影響 | 國 崎 貴 嗣…69
加 賀 英 昭
今 田 盛 生 |
| 針葉樹人工林における林分構造のばらつき(II)
生育段階別の樹高曲線の形状特性 | 國 崎 貴 嗣…77
加 賀 英 昭
今 田 盛 生 |
- 年 報 1995 (平成9年2月28日発行)
- 九州大学農学部演習林報告 第76号 (平成9年3月28日発行)
- | 論 文 名 | 著 者 名 |
|---|---|
| RAPDマーカーを用いた九州に分布するセンダン
(<i>Melia azedarach</i> Linn.) の遺伝変異の解析 | 金 谷 整 一…1
渡 辺 敦 史
白 石 進
玉 泉 幸一郎
齋 藤 明 |
| クズの葉の調位運動に関する研究(I)
小葉の方位調節と葉温の日変化 | 劉 玉 泉 惠 國…11
齋 藤 幸一郎
明 |
| 林家の経営マインドの後退と森林資源政策の再編(I)
人工林の施業放棄について | 堀 正 紘…25 |
| 燻煙熱処理によるスギ丸太の材内応力挙動 | 藤 本 登 留…39
河 辺 純 一
又 木 義 博 |
| 繰返し負荷を受ける木質部材ボルト接合部のすべり挙動 | 藤 元 嘉 安…49
渡 邊 亜 林
又 木 義 博 |
- 演習林ニューズレター No.2 (平成9年3月発行)
- 九州大学農学部附属福岡演習林第7次森林管理計画書 (平成9年3月発行)